



# 淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.04

～知立市議会行政視察～



## ◆知立(ちりゅう)市議会行政視察

平成 23 年 1 月 16 日に、愛知県知立市議会の「知立駅周辺整備特別委員会」の委員の皆様が、本連立事業を視察されました。

視察には委員長を含む 12 名の方が参加され、現場事務所において事業の概要や現在の進捗状況などについての説明を受け、事務所近くの工事現場では完成した構造物を視察されました。

愛知県知立市にある名鉄知立駅周辺では、連立事業、関連側道事業及び土地区画整理事業を行っています。

また、知立駅は名鉄名古屋本線と三河線の乗換駅であり、連立事業によって、その 2 線を高架にすることから、事業完了後の知立駅は 2 層になるという計画とのことです。

以上のように、「土地区画整理事業との合併施行」「2 層の駅部」など、淡路駅における連立事業と非常に似かよっているとと言えます。

それらのような類似点もあり、現場事務所における事業説明時には「直上工法※の採用に際しての検討内容」や「土地区画整理事業との進捗調整」、「鉄道構造物の耐震設計について」など、さまざまなご質問をいただき、活発な意見交換ができたと感じております。

※「事業だより Vol.02(H24.01)～出前講座・現場見学会を実施しました～」を参照してください。

本事業は全国的に見ても大規模な事業ということで、さまざまな都市から注目されています。

(参考ホームページアドレス)

愛知県 HP… [http://www.pref.aichi.jp/toshiseibi/aichi/aichi\\_renzoku.c.html](http://www.pref.aichi.jp/toshiseibi/aichi/aichi_renzoku.c.html)

知立連続立体交差事業促進期成同盟会 HP… <http://chiryu-renritu.com/index.html>

事業説明の様子



現場見学の様子





# 淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.04



～知上市議会行政視察～

## ◆淡路駅付近の連続立体交差事業(連立事業)の紹介(その3)

事業だより Vol.03 でお休みしました事業の紹介ですが、今回は淡路駅の計画について記載します。

現在の淡路駅には上り線ホーム(京都・千里行き)と下り線ホーム(梅田・天六行き)の二つのホームが横に並んでいます(ホームが2つあり線路が4本あることを、2面4線と呼んでいます)。この状態では、上り電車と下り電車が平面交差する場所が必ず出てきてしまいます(対向平面交差)。対向平面交差があるとどちらかの電車は信号待ちをしなくてはなりません。

京都線と千里線では、京都線が本線ですので、例えば京都線の下り電車が崇禅寺方面に出発したときには、千里線の上り電車が淡路駅に入ることができず、信号待ちをすることになります。

この事業が完了すれば、上り線ホームと下り線ホームを2層にすることになりますので、その電車同士の平面交差がなくなり、電車の無駄な信号待ちがなくなります。

また、ホームを2層にすることで、現在の淡路駅よりも小さい面積で駅をつくることができますので、あわせて行っている土地区画整理事業にも貢献しています。

